

第 5 6 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会
分科会の発表案について

【導入】

令和 5 年度第 1 回茅ヶ崎市社会教育委員の会議定例会において、社会教育委員より、公民館で障がい者のある方も参加することができる事業の検討をお願いしたいのご意見をいただいた。

【活動内容】

令和 6 年度社会教育主事会で、「障がい児・障がい者が自分らしく生きることができるために社会教育施設は何ができるか」をテーマに調査・研究を行い、次の三点を実施した。

※社会教育主事会：茅ヶ崎市では、社会教育主事と各公民館等の社会教育関係職員で「社会教育主事会」を構成し、毎年度テーマを設定して、その成果を公民館等の運営や主催事業に反映し、市の社会教育をより効果的に推進することを目的として調査・研究等の活動を行っている。

1 市内の社会教育施設についてのアンケートの実施

- (1) 実施日：令和 6 年 9 月 1 8 日から 1 0 月 9 日まで *実施：茅ヶ崎市社会教育主事会
- (2) 内容：学校外の施設での教育活動について、社会教育施設にできること、社会教育施設に出かけた目的、出かけたことがない理由等についてアンケート調査を行った。
- (3) 対象：茅ヶ崎支援学校の教職員、特別な支援を必要とする生徒・児童の保護者

2 「公民館職員と話そう！みんなのしゃべり場 with 茅ヶ崎支援学校」の実施

- (1) 実施日：令和 7 年 1 月 9 日 *主催：茅ヶ崎市社会教育主事会、協力：茅ヶ崎支援学校
- (2) 内容：「社会教育施設ってどんなところ？」について市職員から説明をしたあと、市職員が進行役となり、グループワーク(テーマ：「誰にとっても参加しやすい講座とは？」)を行った。
- (3) 対象：特別な支援を必要とする生徒・児童の保護者

3 「公民館へ行ってみよう！子どもも大人もみんなで音遊び」の実施

- (1) 実施日：令和 7 年 3 月 3 0 日 *主催：鶴嶺公民館
- (2) 内容：片山どんぐりさんによる楽器を使ったワークショップを行った。
- (3) 対象：今宿小学校ぼうふら級、浜之郷小学校郷の子教室、茅ヶ崎支援学校小学部の児童

【その他】

茅ヶ崎支援学校では、地域のイベントにおいての共生社会推進活動を行っている。

例：民間団体(翔の会、まちづくりスポット茅ヶ崎、サポートちがさき等)と連携してイベントブースの出店(視線入力装置体験、かながわ憲章の P R)を行っている。

※茅ヶ崎支援学校の発表にならないよう配慮必要